

医療法人社団 大谷会



■所在地 広島県江田島市

■業種 医療・福祉

■従業員数 (男性79人、女性148人)

両立支援の取組

★育児休業者の職場復帰プログラムを実施した。その結果、5名の職場復帰者の面接を行い、労働時間の変更や短時間勤務制度の利用を促した。

★父親の育児参加促進のため、子の看護休暇について社内で周知・広報し、取得者を増やした。

★男性の育児休業取得の促進のため、母親だけでなく、父親も育児休業を取得できる旨周知し、計画期間中に1名の男性育児休業取得者が出た。

くるみんマーク取得にあたって工夫した点

- ・育児休業制度等の諸制度について、院内広報等を利用して、職員への周知に努めた。
- ・育児休業者が発生した場合の代替職員の確保を行った。
- ・各部署長への協力依頼と周知を行った。

くるみんマークの活用方法

・現在は、女性労働者が多い職場であるため、男性も育児休業等を取りやすい職場であることをアピールして、新規採用につなげたい。

私たちは子育てサポート企業です

認定を受ける対象となった一般事業主行動計画

職員が仕事と子育てを両立することができ、職員全員が働きやすい環境を作ることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成22年6月1日から平成24年9月30日

2 内 容

【目標1】 育児休業者がスムーズに職場復帰できるよう、職場適応性や職業能力の維持回復を図る措置を講じる。（職場復帰プログラム）

職場復帰にて、労働時間の変更や短時間勤務制度の利用者をめざす。

《対策》 平成22年6月 検討開始
平成22年9月 職場復帰プログラムの職員への周知

【目標2】 仕事と家庭の両立支援のため、父親の育児休業の取得を促進する。期間中に1人以上の取得を目指す。

《対策》 平成22年6月 職員へのアンケート開始、情報収集
平成22年9月 制度の継続、社内広報誌などによる職員への周知

【目標3】 男性の育児参加促進のため、子供の出生時に父親が取得できる有給休暇制度を利用者1人以上を目指す。男性の子の看護休暇の取得増を目指す。

《対策》 平成22年6月 職員へのアンケート調査、検討開始
平成22年7月 男性の制度の利用推進をする

【目標4】 妊娠中の女性職員の母性健康管理について職場での協力体制を構築し、安心して仕事と健康管理を両立させる。

《対策》 平成22年6月 職員へのアンケート調査、検討開始
平成22年7月 すべての職員に制度の利用と理解を深める

計画期間中の育児休業取得者数

男性 1人 女性 5人